

令和6(2024)年度
南和広域医療企業団南奈良看護専門学校
【一般】入学試験問題

国語総合

注意事項

- 1 試験監督の指示があるまで問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、問題1から問題15までです。試験時間は、50分です。
- 3 問題冊子、解答用紙には必ず受験番号と氏名を記入し、解答用紙の受験番号欄には正確にマークしてください。
- 4 解答は、①～⑤の選択肢から正解を一つ選び、解答用紙の該当する番号をマークしてください。二つ以上マークした場合には誤りとなります。
- 5 マークは、解答用紙の「マークの方法」の「良い例」のように丁寧に塗りつぶしてください。
- 6 試験中に問題の落丁・乱丁に気づいた場合は、手を挙げて試験監督に知らせてください。
- 7 問題冊子と解答用紙は回収します。室外への持ち出しは禁止します。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

第1問 次の各問いに答えなさい。

問題1 傍線部の漢字の読み方が正しいものを一つずつ選べ。

- (1)
- ① 署名をして捺印(おういん)をお願いします。
 - ② 織田家の嫡子(ちようし)である信長に嫁ぐ。
 - ③ 計画への反対意見を一蹴(いっしょう)する。
 - ④ 上司の辣腕(れつわん)ぶりには頭が下がる。
 - ⑤ 彼女は、羨望(せんぼう)の眼差しで見られる。
- (2)
- ① 悪政に対して民衆が蜂起(ふんき)した。
 - ② 彼の行動に全幅(ぜんぷく)の信頼を寄せる。
 - ③ 馬の手綱(てづな)をゆるめて活動させる。
 - ④ 相手の言動に翻弄(ぐろう)される日々だ。
 - ⑤ この二人の兄弟は風采(ふうさい)が違う。

問題2 傍線部の漢字や、語句の用法が正しいもの一つずつ選べ。

(1) ① この大きさの部品では**規画**に合わない。

② 群れをつくる**習生**が無い動物もいる。

③ 停電によって異常な**事態**を引き起こした。

④ 彼は**一環**した態度を終始示していた。

⑤ 長年の負債で従業員を**解雇**することになった。

(2) ① お店を開いたが、今日も**千鳥足**が鳴いている。

② お金は**一辺倒**ではないので計画的に使う。

③ 父は長い時間、**筆不精**をして黙り込んでいる。

④ 採算を**度外視**することで生まれた商品だ。

⑤ **二枚舌**を覆して、下位のチームが優勝した。

問題3 次の傍線部と同じ漢字を使うものを一つずつ選べ。

(1) どんな状況でもコウセイな判断を下すべきだ。

- ① その話はコウセイに伝えていきたい。
- ② 彼はコウセイして真面目に働き始めた。
- ③ 福利コウセイが充実した会社にいる。
- ④ 三十一字でコウセイされるのが短歌だ。
- ⑤ コウセイな取引の基準を決めよう。

(2) 今でもあの判定はギ惑が残る。

- ① 大きなギ性を払った戦いだった。
- ② 何度もギ題に上ったが解決していない。
- ③ 彼は詐欺の容ギで逮捕された。
- ④ 凶鑑を買って昆虫のギ態を調べる。
- ⑤ 彼は礼ギ正しい人間で好感が持てる。

問題4 次の言葉の意味として正しいものを一つずつ選べ。

(1) 閑話休題

- ① 日ごろの苦勞から解放されてのんびり休息すること。
- ② 本来の話題から逸れてしまった話を本題に戻すこと。
- ③ 議論が白熱したときは休みを入れて話を止めること。
- ④ 元々の本筋から外れて不必要な事柄を議論すること。
- ⑤ 時間がある者同士が家に集まって世間話をする事。

(2) 業を煮やす

- ① 相手の態度がはつきりせず不安に感じる。
- ② 口では良いことを言うが内心は険悪である。
- ③ 信頼していた人に裏切られて酷い目にあう。
- ④ 軽はずみなことを聞いて不快な気分になる。
- ⑤ 物事が思い通りに進まないため腹を立てる。

(3) 揚げ足をとる

- ① 相手が隠していた話までうつかりしゃべってしまうさま。
- ② 相手の言いまちがいや言葉じりをとらえて非難するさま。
- ③ 上手く物事が進んでいる他人の状況に邪魔を入れるさま。
- ④ あるきっかけが手掛かりとなり相手の悪事が分かるさま。
- ⑤ 相手に勝ったことのうれしさに冷静さを失っているさま。

問題5 次のうち「吟味」と最も近い意味を持つ語句として正しいものを一つ選べ。

- ① 検討
- ② 計略
- ③ 抗告
- ④ 意見
- ⑤ 迷走

問題6 次のうち「自然」と反対の意味を持つ語句として正しいものを一つ選べ。

- ① 機械
- ② 建築
- ③ 社会
- ④ 人工
- ⑤ 科学

問題7 次の【 】の場面での言い方として正しいものを一つ選べ。

【取引先の担当者に、電話で日程の変更をお願いするとき】

課長が日程を（ ）。

- ① 変更なさりたいとおっしゃっております
- ② 変更なさりたいと申しております
- ③ ご変更いたしたいとおっしゃっております
- ④ 変更させていただきたいとおっしゃっております
- ⑤ 変更させていただきたいと申しております

第2問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

①人間の行う知的活動には二つの種類があるといっています。ひとつは苦しみを減らす活動で、これを「文明」と呼ぶことにします。もうひとつは喜びをもたらす活動で、これを「文化」と呼びましょう。

医療は、ケガや病気を治療し、予防しようとするのですが、それは苦しみを減らそうとする努力です。水道事業も、渇きの苦しみや汚れた水を飲むことの危険性、遠くまで水を汲みにいかなければならない不便さをなくそうとするものです。交通ルールは、事故を防ぎ、安全でスムーズな道路の運行を作り出そうとしています。これらはなくてはならない必要なものを生み出すという意味で、文明だと言えるでしょう。

他方で、素敵な音楽を演奏する。美味しい料理を作る。楽しいお祭りやイベントを運営する。脚本を書いて、お芝居を興行する。これらは人々に喜びを与えるものですから、文化と言えるでしょう。文化は、命の維持を超えた価値を作り出し、人間らしい生活を提供してくれます。

もちろん、全てのものが二つに分類できるわけではありません。スポーツはやって楽しいものですが、同時に健康づくりや病気の予防にもなるでしょう。家屋は、人が雨露をしのいで休息と睡眠をとる場所ですが、外見や調度が美しく、心のゆとりを与えてくれるものにもなります。これらは、文化と文明の両面を持っていると言えます。

しかし、文化は不必要な贅沢品だと言うことはできません。私が、東日本大震災が起こった三カ月後くらいに被災地にお見舞いに行ったときのことです。まだ公共施設で寝泊りしている人たちが、お子さんから高齢者の方まで、小説や勉強になる本が読みたいと訴えていました。被災した人々は、まだまだ生活が厳しい中でも、必要な情報を知りたいからというだけでなく、文化としての楽しみを得ようとして書物を探していたのです。小さな仮設図書館が開かれると、ひっきりなしにいろいろな年代の方が本を借りにきました。このときほど、（ア）と実感したことはありません。文化を求めるのは人間であることあかしの証です。

今、文化と文明という大きな枠組みを述べましたが、探究型の授業のテーマとなるのは、このどちらか、あるいは両方に関わっているはずですよ。つまり、苦しいことを減らそうとするのか、楽しいことを増やそうとするのか、あるいは、その両方を兼ねたものかです。

探究型の授業を行うのに、一番大切なのは、学ぶ側が学ぼうとする意欲を持っているかどうかです。初等中等教育で行うべき最も大切な教育は、生徒に一生学ぼうとする動機づけを与えることです。これが蔑ろにされては学習が成り立たず、学習のないところには教育は存立しえません。

では、人はどういうことに学ぼうとする意欲を持つでしょうか。「知りたい」という気持ちには、大きく言って二種類の動機があると思います。ひとつは、世界がどうなっているかが分かるような、②「一種の見取り図のようなもの、あるいは地図のようなものがほしい」という願望です。これは子どもの頃からの好奇心に近いものです。

もうひとつは、何かができるようになりたいという気持ちです。これは、「ケーキの作り方が知りたい」「自動車の運転ができるようになりたい」「うまくダンスが踊れるようになりたい」といったように、「ある行為ができるようになりたい」という気持ちのことです。①

そしてこの何かができるようになりたいという気持ちは、「何かを達成して、自分が世界のなかで効力を持てる存在になりたいという気持ち」でもあります。自分を含めただれかの苦しみを取り除きたいとか、だれかに楽しさを与えたいといった目的を持ち、そのために何かができるようになりたいというのが人間の学びへの動機になります。ごく単純に言えば、楽しいこと、面白いことをやりたい、そして嫌なことを避けたいという気持ちに素直になり、そのために③何かがやりたいと思うことが動機づけとなるのです。

何かをうまく達成するためには、先人たちの残してくれた知識が役に立ちます。ひとつ目の「見取り図や地図のようなもの」がそれにあたります。逆に言えば、何かをできるようにしたい。それで苦しみを増やしたりしたい、そういう気持ちがあれば、知識を求める意欲が湧かないのです。いくら先人の築いた知識があっても、自分の行動の役に立ってくれなければ意味がありません。

では、どうすれば、何かができるようになりたいと思うでしょうか。それは、まさに何かをやってみたり、あるいは、だれかが何かをやっているのを見たりして、それが苦しみを取り除き、楽しみを与えてくれているのを知る経験から生まれます。

たとえば、近所のレストランがとても素敵な料理を出してくれます。家族や友人と楽しく食事をする、みんな仲がよくなります。そうなれば、こんな店をやってみたいと思うことでしょう。自分なりにやってみたい。ここをこうしたい。もつとうまくやってみたい。こういう気持ちですが、私たちの中に生じてくるのは不思議ではありません。

自分の好きな料理を出そうとして、レストランを経営するには、どのような技術と知識が必要でしょうか。調理の技術だけで済むわけがありません。栄養学、公衆衛生、関連する法規、食品と流通の知識。これだけでもまだ全然足りません。オリジナルな商品がないと他店との競争に負けそうです。店の外見も内装も、清潔で、オシャレにしないとけません。(イ)、店舗を経営するには、経営学の知識が必要です。化学から美術、保険から人間関係の心理学まで、何でも関係してきます。一見すると、自分と縁遠いと思った知識も、お店を経営しようとする、全部関係してくることがわかります。とてもよいレストランを作ろうと思ったら、たくさん学ぶべきことがあることに気づくでしょう。

このように具体的に何かができるようになりたいという意欲が、知識とスキルの必要性を理解させ、さらにそれを改良しようとする気持ちにつながります。探究の時間の根底を支えているのは、④何かをしようとする意欲であり、動機です。⑤

教える側は、学ぶ側が意欲を持てるような経験をさせてあげなければなりません。現代の教育格差とは、子どもが家庭で与えられる経験の格差も大きく反映していると考えられます。学校はそれを補う必要があると思います。◎

さて、今取り上げたレストランの話は職業に直結してきますね。ある職業に関心を持って、それについてこうと努力するのは大切です。でも、学校で学ぶべきは、職業のために必要な技術や知識、その準備となる常識だけではありません。④

たとえば、学校のクラスでは、将来につきたい職業は人さまざまでしょう。では、方向性の違う人が集まっても話し合える共通のテーマは何でしょうか。

たとえば、みんなの住んでいる町の人口が減っているとしましょう。人口は、その町でどのような職についたとしても共通の問題です。あるいは、川の周りに堤防を作ることになったけれど、魚が減ってしまうのではないかなど、自然環境に関する問題もみんなに共通しています。これらは、住んでいる人みんなの利害に関わるので、政治的な問題といえることができるでしょう。政治とは、異なった利益を調整して、集団の秩序を作り出していく活動のことです。民主主義社会では、政治は言論の活動によって行われます。

先ほど、「苦しみを取り除き、楽しみを増やすことは、探究する動機になる」と書きました。(ウ)、ある人の苦しみを減らしたり楽しみを増やすことは、ときには、その逆の効果を他の人に与えたりします。川で魚を釣ることを楽しみにしている人がいる一方で、あまりに多くの釣り人が来て、その地域の魚が減ってしまうと地域住民には不利益です。利害の対立をうまく解消することは政治の役割です。きちんとデータを出して、理由のしっかりした話し合いをして、双方が納得できる結論を導き出すのです。⑤

あるいは、同じ職業を目指すのでも、ただ就職するためのスキルや知識に関心を持つことから、一步前に進んだ考えに立って、探究してみましよう。

たとえば、レストランについて考えてみましょう。そもそもレストランとは何でしょうか。自宅で食べるのではなく、外食する理由は何でしょうか。レストランで食べたい料理とは何でしょうか。レストランに人は何を求めているでしょうか。そして、美味しい料理とは何でしょうか。もつと根本的に、「食」とは人間にとって何なのでしょう。こういうテーマなら、料理人になりたい、レストランを経営したいと思っただけのテーマではありません。これらのテーマは、外食産業全体のテーマであり、だれでもが外食をしますので、だれにとってもテーマになります。

それらは、ただ今ある仕事先で自分が働くというよりは、新しい産業や新しい文化を生み出す大きな発想のもとになるようなテーマだと言えるでしょう。探究の動機とそこから生まれてくるテーマは、日常生活を送るなかでの素朴な疑問から生まれてくるものです。

問題8 次の文章は本文の一節である。挿入箇所として最も適切な場所を一つ選べ。

これが、行為に関係する知識を得ようとする探究につながります。

- ① A
② B
③ C
④ D
⑤ E

問題9 傍線部①「人間の行う知的活動には二つの種類がある」とあるが、「文明」と「文化」で分類したときに、「文明」のみの組み合わせとして、最も適切なものを一つ選べ。

- ① 美味しい料理を作ることと、遠方まで水を汲みにいく不便さを解消する水道事業
② お祭りやイベントを楽しく行うことと、健康増進や病気の予防となるスポーツ
③ 雨露をしのいで休息と睡眠をとる家屋と、ケガや病気の治療と予防をする医療
④ 脚本を書き、お芝居を上演することと、体を動かすのが楽しみで行うスポーツ
⑤ 事故を防止して安全な運行を作り出す交通ルールと、外側や調度が美しい家屋

問題 10 空欄（ア）に当てはまる表現として最も適切なものを一つ選べ。

- ① 人は極限の時にこそ贅沢品を欲するものだ
- ② 人間は根源的に文化を必要としているのだ
- ③ 人は生まれながらに読書を求めているのだ
- ④ 人は高齢から知的活動が活発になるものだ
- ⑤ 人間は年齢を問わず文明を享受するものだ

問題 11 傍線部②「二種の見取り図のようなもの、あるいは地図のようなもの」という比喩は何を表しているか。最も適切なものを一つ選べ。

- ① 苦しみを取り除いたり、楽しみを与えたりするという目的
- ② 自分なりに考察して、もつと上手になりたいという向上心
- ③ 他の人が何かをやっているのを見ることが与えられる経験
- ④ 先人たちの残してくれた知識や、先人が築いてくれた知識
- ⑤ だれかのために、何かができるようになりたいという決意

問題 12 空欄（イ）（ウ）に当てはまる語句の組み合わせとして最も適切なものを一つ選べ。

- | | | |
|---|---------|---------|
| ① | （イ）でも | （ウ）ただし |
| ② | （イ）あるいは | （ウ）他方 |
| ③ | （イ）そして | （ウ）しかし |
| ④ | （イ）なぜなら | （ウ）とにかく |
| ⑤ | （イ）一方 | （ウ）むしろ |

問題 13 傍線部③「何かがやりたいと思うことが動機づけとなる」とはどのようなことか。最も適切なものを一つ選べ。

- ① たとえば、よいレストランを開くためには、オリジナルの商品やオシャレな店構えなど、他者とは異なる発想が必要であることに気づくように、具体的に何か新しいものをつくってみたいという意欲が競争心を生み、より改良をしようとする気持ちが出てくること。
- ② たとえば、多くの人が楽しむレストランを開くには、保険から人間関係の心理学といったレストランの経営とは関係のない知識が必要なことが分かるように、新しいことを学ばなければならない環境が個人を成長させ、多くの知識を得たいとする思いが高まること。
- ③ たとえば、素敵なレストランを開業するためには、調理技術だけでなく、調度品、法規、心理学などの多岐にわたる学びが必要なことに気がつくように、何かをやりたいという意欲が、知識とスキルの重要性を理解させ、それを磨こうとする気持ちにつながることに。
- ④ たとえば、美味しい料理を提供するレストランをつくるには、栄養学、化学から美術などの教育による知識が必要であると実感するように、新しいことを学ぼうとする機会が、知識を習得する場の必要性を認識させ、スキルを上げたいという気持ちが生まれること。
- ⑤ たとえば、成功するレストランを経営するためには、調理の技術に加えて、食品と流通の知識や経営学など、技術と知識の両方が不可欠であると考えるように、新しいことを学びたいという気持ちが経営者の資質を伸ばし、それが社会的信頼を築く一助となること。

問題 14 傍線部④「何かをしようとする意欲」を学ぶ側に持たせるにはどうすればよいと筆者は述べているか。最も適切なものを一つ選べ。

- ① 自らやりたいと思ったことは率先して実行し、人から称賛されることで成功体験を増やして達成感を持たせるのがよい。
- ② 楽しく面白いことをやって、嫌なことは避けたいという素直な心を持ちながら、自分ができる範囲で学ばせるのがよい。
- ③ 人のために役立つ仕事を実践している人の姿を見せて、その熟練者から具体的な手ほどきを受けさせるのがよい。
- ④ 家庭での様々な体験を通じて、世界や人の課題を知り、社会全体をとらえるような広く深い視点を習得させるのがよい。
- ⑤ 人の行為を見たり自ら体験をしたりして、それができるようになれば人の役に立つのだと知る経験を積みさせるのがよい。

問題 15 次の本文の内容について説明したA～Eのうち、正しいものはいくつあるか。

- A 学校という場合は、技術や知識だけではなく、考え方が異なる人の中で共通のテーマを持ち、正確なデータを元に双方が納得するまで話し合いをする民主主義の政治的原理を学べるところでもある。
- B 豊富な知識がなければ、「何かができるようになりたい」と思っても行動の役には立たないので、身近な問題にまず興味を持つことから始まり、技術や知識、常識など身につけなければならない。
- C 相手に「何かをやりたい」という気持ちを持たせるには、自分自身が実際に行動して見たりすることが重要となるが、その機会を家庭で与えられない場合は学校が手助けすべきである。
- D 探究と学習の動機というものは、日常生活から生じる素朴な疑問や問題から生まれるものであり、できるだけ多くの人々に問題意識やテーマを共有してもらったほうが探求的な学びが深まる。
- E 自分の希望の仕事先で働けるようになるには、身近な日常生活や社会制度に対して疑問や要望を持ち、それを元にして自身の関心を一歩進めて考えられるテーマを抱くことが重要となってくる。

- ① 一つ ② 二つ ③ 三つ ④ 四つ ⑤ 五つ